

『国内クラウドサービス需要動向(2019年版)』

レポート発売のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り誠に有難うございます。

「国内クラウドサービス需要動向(2019年版)」に関する調査レポートの販売についてお知らせ致します。

直近ではクラウドは日本市場で普及し、PaaS/IaaSを用途に応じて使い分ける「マルチクラウド化」が進み、クラウド市場は2018年度1.9兆円、2023年度には4.4兆円を超えるまでに拡大することが見込まれています。

本レポートは、法人ユーザー1,597社へのアンケート調査を通じてクラウドサービスの利用者・検討者の実態を明らかにするとともに2018年度および今後5年間の市場規模を算出・予測したものです。クラウド市場の成長を見越してICTベンダーやユーザーがどのような戦略を構築すべきか、そのシナリオ検討のヒントとなるデータを提供致します。

本レポートが業界発展の一助となれば幸いです。

本調査レポートの購入およびお問い合わせをお待ち申し上げますと同時に、業界各社様の今後のご発展を心よりお祈り致します。

敬具

回 答 件 数 : 予備調査 (クラウドサービスの認知、利用・検討状況などについて) : 35,088名
 ※情報システム、ネットワークの管理・運用担当者または決裁・選定担当者
 本調査 (クラウドサービスの利用実態、投資動向など) : 1,597名
 ※クラウドサービスの利用・検討者

調 査 方 法 : Webアンケート調査

調 査 期 間 : 【アンケート調査期間】2019年5月7日～5月20日

分 析 内 容 : ■クラウドサービスの市場規模・予測(2017年度～2023年度)
 ■クラウドサービスにおける利用・検討サービス、選定ポイント、導入目的
 ■クラウドサービスの利用用途
 ■企業におけるクラウドサービスおよびICTへの投資動向 など

価 格 ・ 形 式 : ¥300,000 (税別)

* PDFデータ+簡易製本セット、134ページ

発 売 日 : 2019年6月24日

■レポート購入のお問い合わせ先

株式会社MM総研 担当: 狩野 (kanou@m2ri.jp)

TEL 03-5777-0161(代表) FAX 03-5777-0163

ホームページ <http://www.m2ri.jp>

* 当社が毎月発行する月刊IT総合情報誌「M&D Report」の購読も承ります

国内クラウドサービス需要動向(2019年版) 目次

I. 調査概要

- 1 調査目的・定義
- 2 調査手法・形式
- 3 調査期間 (Webアンケート実施期間)
- 4 調査対象者・属性

II. 調査結果サマリー

- 1 クラウドサービス市場規模
- 2 概況・トピックス

III. 調査結果

- 1 クラウドサービスの認知度
- 2 クラウドサービスのイメージ (理解)
- 3 クラウドサービスの検討・利用状況
- 4 クラウドサービスの導入状況
- 5 クラウドサービスの導入予定時期／利用しない理由
- 6 クラウドサービス事業者のイメージ
- 7 クラウドサービス別の利用用途と使い分け
- 8 パブリッククラウドへの移行パターン／移行できない機能
- 9 クラウドサービスの機能の重要度
- 10 仮想マシン台数
- 11 クラウド接続におけるネットワーク
- 12 年間利用額
- 13 今後、投資額を増やす分野
- 14 全社のIoT投資額